

ビジネスパーソンの「スキルアップ」に関する調査2018

～20代の約6割。若年層ほど、お金をかけてスキルアップを実践している！？～

「働き方改革」の推進により今後働き方の多様化が進み、自己（プライベート）の時間の使い方にも注目が集まり、異業種の英会話ビジネス参入をはじめ様々なサービスが生まれています。

今回の調査では、いま、ビジネスパーソンがそれぞれのビジネスのために、自分の時間やお金をどれだけ費やしているのか、またどのようなジャンルのスキルアップを実施しているのか、1,000人のビジネスパーソンのデータをもとに、その実態を探ります。



【調査結果】

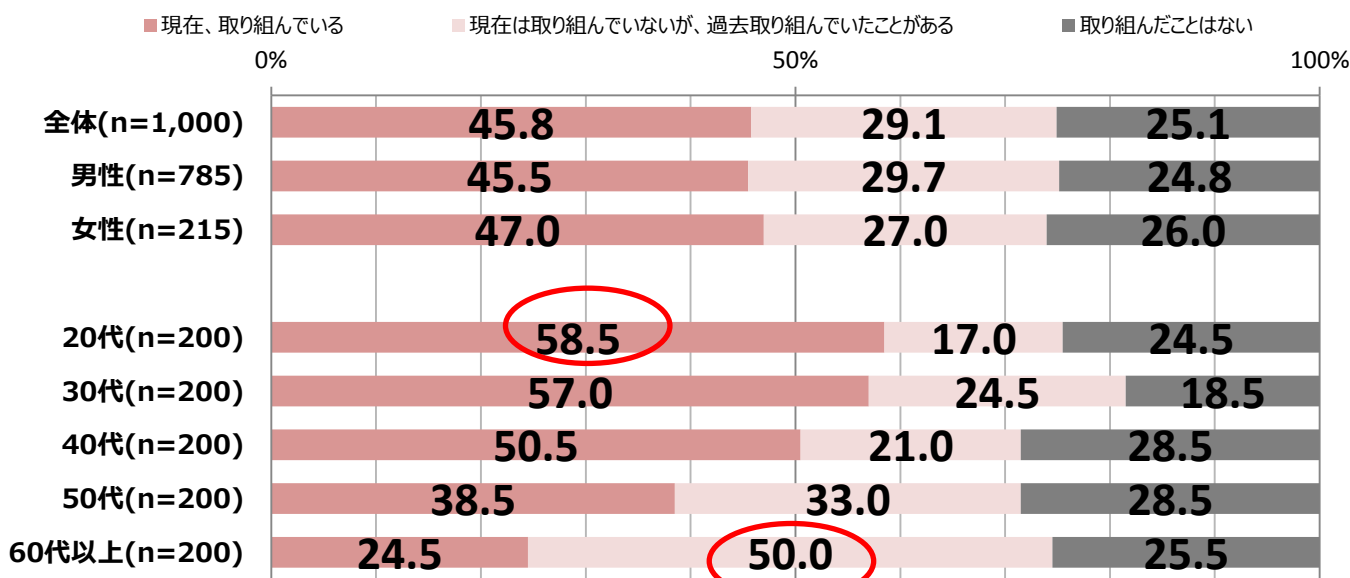
全体で45.8%の人が、スキルアップに「現在、取り組んでいる」
若い年代、また会社に支援制度がある人ほど、「現在、取り組んでいる」割合が高い

「自主的にビジネススキルの向上に関する取り組みをしているか」について、「現在、取り組んでいる」45.8%、「現在は取り組んでいないが、過去取り組んでいたことがある」29.1%、合わせて74.9%となった。

男女別では、ほぼ差は見られなかった。年代別では、若い年代ほど「現在、取り組んでいる」が高く、特に20代では58.5%と最も高かった。一方で60代以上では「過去取り組んでいたことがある」が50%と高かった。

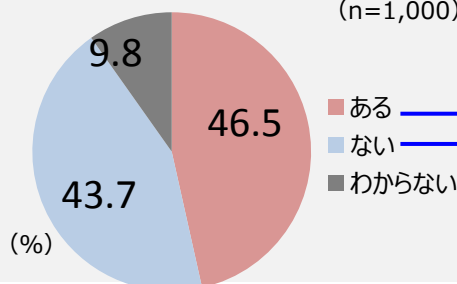
会社での支援制度の有無別では、支援制度がある人の「現在、取り組んでいる」が64.3%と高く、制度がない人と32.3%差が開いた。

【自主的にビジネススキルの向上に関する取り組み（以下、スキルアップ）をしているか】 ※会社の研修等を除く(SA) (n=1,000)

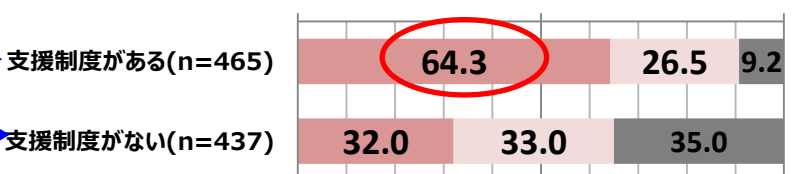


あなたの会社では、ビジネスに関するスキルアップに対して、支援制度はありますか。
(報奨制度や、研修金支援など) (SA)

(n=1,000)



▼支援制度の有無別▼



最も多くの人に取り組んでいるスキルアップは「語学」 若年層ほど、スキルアップにお金をかけている傾向

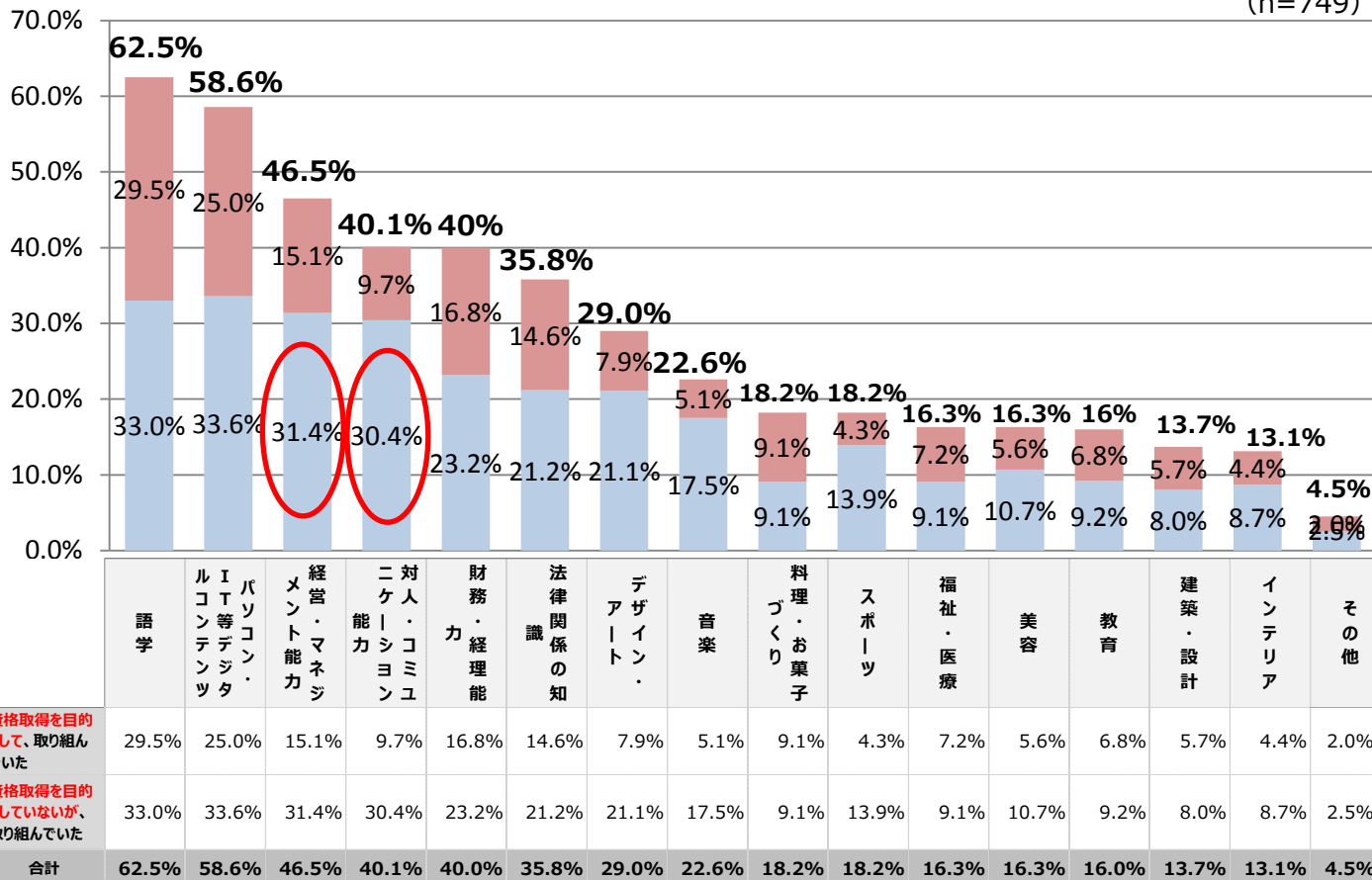
取り組んでいる（取り組んでいた）スキルアップの内容について、全体では「語学」が最も多く62.5%。次いで「パソコン・IT等デジタルコンテンツ」が58.6%。「資格取得を目的として取り組んでいた」と回答した人の中で最も高かったのは「語学」で29.5%、次いで「パソコン、IT等デジタルコンテンツ」が25.0%。「資格取得を目的として取り組み」に比べて「取得を目的としていないが取り組んでいた」割合が特に高かったのは、「経営・マネジメント能力」「対人・コミュニケーション能力」。

スキルアップにかけている（かけていた）お金は、特に20代・30代の「30,000円以上」かけていると回答した割合が高かった。

【取り組んでいる（取り組んでいた）スキルアップはどのような内容ですか。それぞれお答えください】

■ 資格取得を目的としていないが、取り組んでいた ■ 資格取得を目的として、取り組んでいた

(n=749)

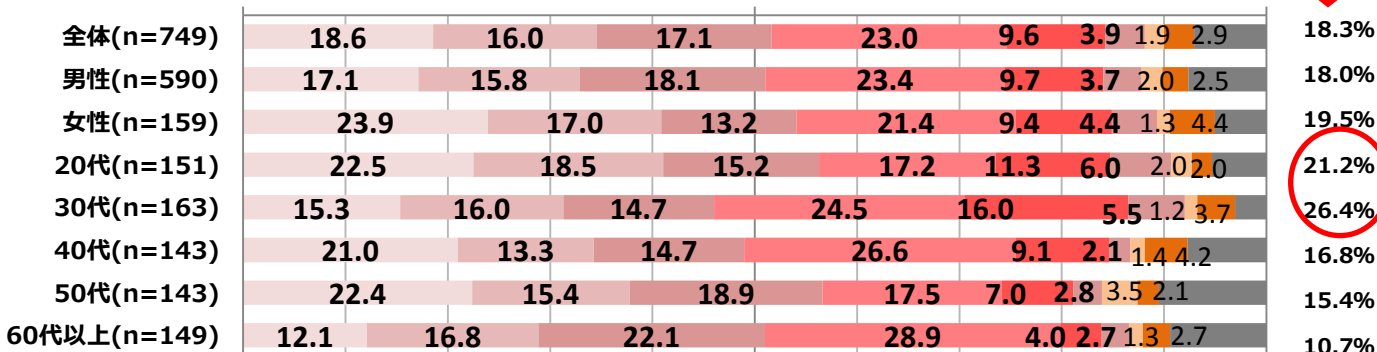


【実施している（していた）スキルアップに、どれくらいのお金をかけていますか。】

■ ~3,000円未満 ■ 3,000円以上~5,000円未満 ■ 5,000円以上~10,000円未満
 ■ 10,000円以上~30,000円未満 ■ 30,000円以上~50,000円未満 ■ 50,000円以上~100,000円未満
 ■ 100,000円以上~300,000円未満 ■ 300,000円以上 ■ わからない

30,000円以上

100%



「書籍の購入」によるスキルアップ実施が最も多く、81.4% 20代は他の年代に比べ「ビジネススクール・大学院」「個人が運営する勉強会等」が多い

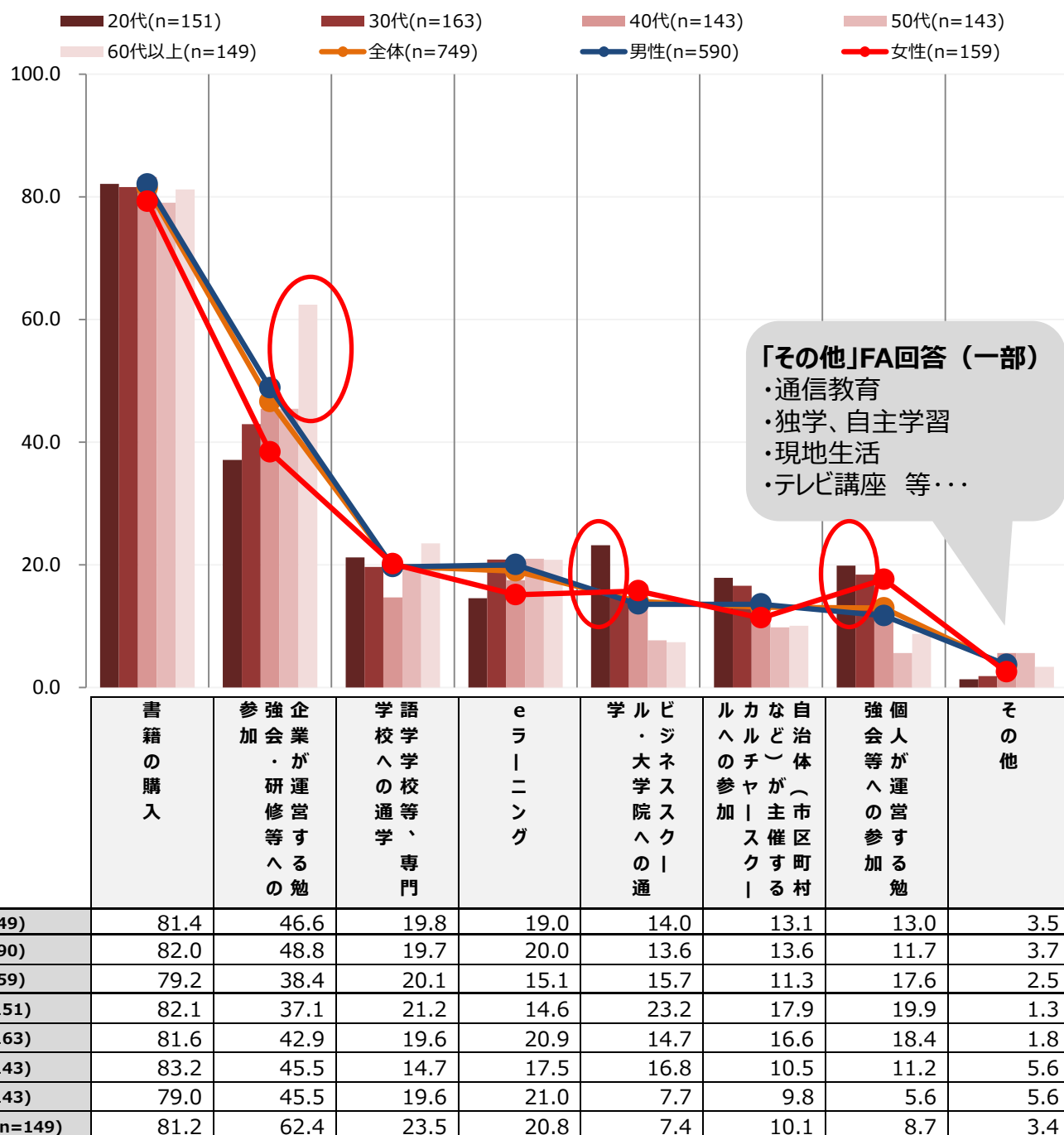
スキルアップの方法について、全体で最も多くの人実践していたのは「書籍の購入」81.4%。
次いで「企業が運営する勉強会・研修等への参加」46.6%。

男女差では大きな差はなかった。

年代別では、どの年代においても「書籍の購入」が最も高い結果となった。また、60代以上の「企業が運営する勉強会・研修等への参加」が62.4%と、他の年代に比べて高かった。また「ビジネススクール・大学院への通学」は20代が23.2%、「個人が運営する勉強会等への参加」は20代19.9%、30代18.4%で、他の年代に比べて高かった。



【実施している（していた）スキルアップは、どのような方法で実践していましたか。】（MA）_(n=749)



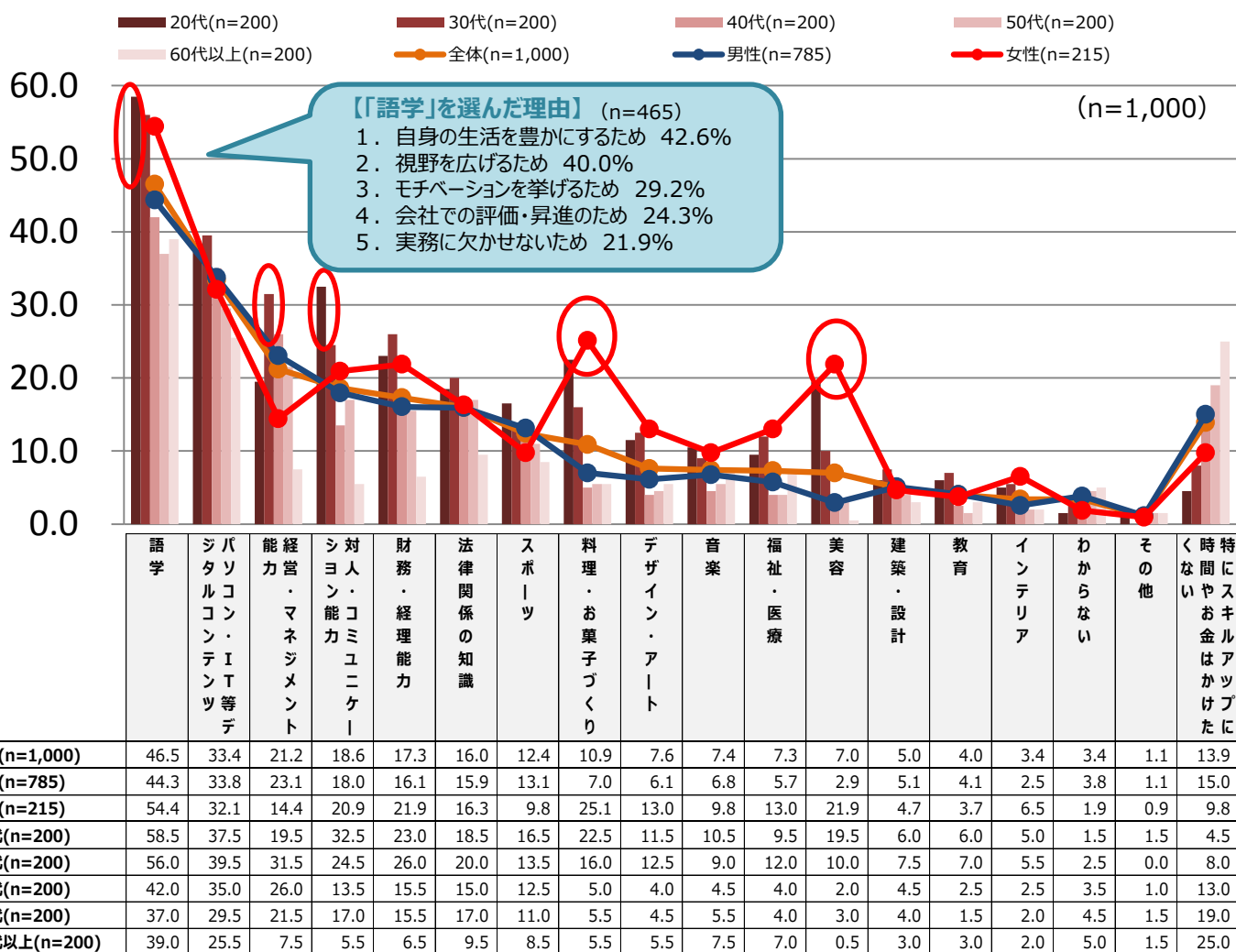
今後の実施意向が高いジャンルは「語学」46.5% 若年層ほど、どのジャンルにおいても実施意向が高い

今後どのジャンルに時間やお金をかけたいかについては、全体では「語学」が最も多く46.5%、次いで「パソコン・IT等デジタルコンテンツ」が33.4%だった。

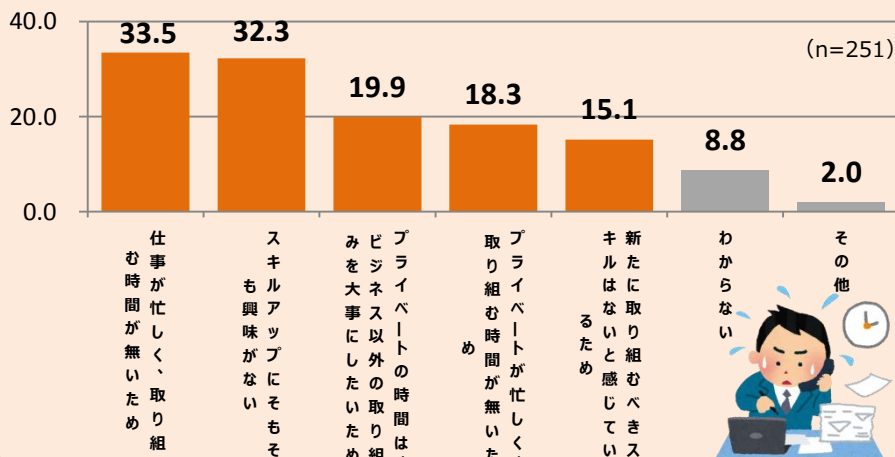
男女別では、女性の「料理・お菓子づくり」が25.1%「美容」が21.9%と男性を大きく上回った。また「経営・マネジメント能力」では男性が23.1%で、女性14.4%より顕著に高かった。

年代別では、どのジャンルにおいても全体的に若年層の回答率が高く、年代があがるにつれて「特に時間やお金はかけたくない」割合が高くなった。特に、20代の「語学」「対人・コミュニケーション能力」、30代の「経営・マネジメント能力」で、他の年代よりも顕著に高かった。

【今後、新たにスキルアップをするならどのジャンルに時間やお金をかけたいか】(MA)



スキルアップに取り組んでいない人に聞きました！「スキルアップに取り組んでいない理由」(MA)



スキルアップに取り組んでいない理由は、「仕事が忙しく、取り組む時間がない」が33.5%と最も多く、次いで「スキルアップにそもそも興味がない」が32.3%。

また、「プライベートの時間はビジネス以外の取り組みを大事にしたい」が19.9%、「プライベートが忙しく、取り組む時間がない」が18.3%と、ビジネスよりプライベートを優先したい意向も見受けられた。

● 調査結果から

今回の調査で、ビジネスパーソンの「スキルアップ」の実態は、特に年代により差があることが分かりました。

スキルアップの実施有無では、20代の58.5%、30代の57%が「現在、取り組んでいる」と回答し、50代、60代以上をそれぞれ大きく上回りました。若年層ほど、今後ビジネスにおける自身の可能性を広げるために、自身の時間とお金を費やし、スキルアップに邁進しているのかもしれませんが。また、支援制度がある人の64.3%がスキルアップに取り組んでおり、支援制度がない人を大きく上回りました。会社による支援制度の充実が、スキルアップ実施への積極性を後押しすると考えられます。

また、スキルアップの実践方法では、「ビジネススクール・大学院への通学」は20代が23.2%、「個人が運営する勉強会等への参加」は20代19.9%、30代18.4%と、他の年代よりも高い結果となりました。ビジネススクールや大学院への通学には、時間はもちろん学費の必要性が伴います。若年層ほど、ビジネスに対して高い意識を持つとともに、プライベートの時間とお金を割いて取り組んでいることが分かります。

スキルアップのジャンルでは、「取り組んでいる（取り組んでいた）」「今後新たに取り組むなら実施したいジャンル」共に「語学」と回答した割合が高い結果となりました。なお、「今後新たに語学に取り組みたい理由」は、「自身の生活を豊かにするため」「視野を広げるため」の回答が高かったことから、語学は実務での必要性だけでなく、幅広い目的で取り組まれるジャンルであることが分かります。

今後、働き方の変化に伴い、仕事に対する意識やプライベートの時間の使い方も多様化し、幅広いスキルアップに関する企業サービスへのニーズも高まると考えられます。「忙しく、現状は取り組めていない」人でも手軽にはじめられるオンラインサービスが、今後ますます増えるのではないのでしょうか。

調査概要

調査方法 : インターネットリサーチ

調査地域 : 首都圏(東京都,神奈川県,埼玉県,千葉県)
東海圏(愛知県,岐阜県,三重県)
関西圏(大阪府,京都府,兵庫県,奈良県,和歌山県)

調査対象 : 20歳～69歳の男女ビジネスパーソン(マクロミルモニタ会員)

割付方法 : エリア(首都圏,東海圏,関西圏) × 年代(20,30,40,50,60代)を均等に回収 / 合計1,000サンプル

調査日時 : 2018年3月20日(火)～2018年3月21日(水)

調査機関 : 株式会社ジェイアール東海エージェンシー 株式会社マクロミル

その他調査項目 : ・新たにスキルアップをしたいジャンルに関して、それぞれの理由
・月の平均残業時間
・婚姻状況

＜調査結果の引用・転載、取材などに関するお問い合わせ先＞

株式会社ジェイアール東海エージェンシー 企画マーケティング部 担当：崎山・糟谷

TEL: 03-6688-5009 e-mail: r-sakiyama@jrta.co.jp